

米政府がついに、ケムトレール作戦による化学気象操作を認める

数十年の否定のあと、米政府は国立衛生研究所を通じて、自明の真実を明かす

【訳者注】これがもし本当だとすれば（つまり、漏れたのでなく積極的に認めたのだとすれば）画期的なことである。政府とその御用学者たちに、どれだけ真剣に挑戦し、警鐘を鳴らし、そのたび一蹴されてきた人たちがいるかしれない。そして世間一般は、どんなに馬鹿げても政府の権威を信ずる。ちょうどダーウィン進化論に対する ID（インテリジェント・デザイン）理論がその例である。しかし今は、時代の趨勢で、かつての迷妄を脱皮しつつある。一頃のように、ダーウィン進化論が実証された！というような、大騒ぎのニュースを、今は全く聞かなくなった。このような不毛の理論に研究費が出なくなったりということであろう。いかに「自明の真実」であっても、政府体制派が認めなければ真実ではない（つまり politically incorrect）という点で、この2つの件はよく似ている。では「ポリティカリ・コレクト」とはどういうことか？ それはすばり「ビッグブラザー（お上=見えない権力者）のお気に召す」ということであって、真理とは関係がない。今、世界の隠し事が暴かれていく時代に、学問の構造もよくわかるようになった。

State of the Nation (SOTN)

November 19, 2017



化学気象操作計画のそもそもその初めから、米連邦政府は繰り返し、その存在を否定してきた。

政府内のさまざまな部局・省庁が、その存在を結論的に証明した、多くの調査ジャーナリストや科学研究者を、現実に小ばかにしてきた。

代替メディアを用いる多くの真理探究者は、その話題を出しただけでも、軽蔑の対象になってきた。中には、気象操作の存在を主張したり、その調査結果を発表しただけで、政府の代理者や私的な請負人から脅迫される人たちもいた。

米国立衛生研究所（NIH）の科学研究論文

今、「バイオテク情報国立センター」（National Center for Biotechnology Information）の出版する、ある科学研究論文があったことがわかった。この機関は、“NIH の一部門である米国立医学図書館の一部” となっている。

この論文のタイトルは、「成層圏のエアロゾルによる太陽放射能操作の、直接的な、職業的また一般に与える健康被害を査定する」というもので、これは次のリンクに見つかる：

<http://chemtrailsmuststop.com/2017/11/us-national-library-of-medicine-national-institutes-of-health-search-posted-scientific-research-paper-acknowledging-chemical-geoengineering/>

この論文は 2016 年 1 月に発表されたにもかかわらず、気象操作に反対する学者共同体は、特に社会メディアに対して、中傷論文やプロパガンダの犠牲になりつづけてきた。どうしてこういうことが起こるのだろうか——特に、政府そのものが、化学気象操作が今も空中で行われていると認めていることを考えるなら？

空は嘘をつかない

この今も継続中の災厄について特に腹立たしいことは、あらゆるケムトレール観察者が、絶対的な確信をもって、有毒な化学物質が全地球上に、これでもかというほど撒かれていると言っていることである。次のリンクの写真を見よ：——

<http://cosmicconvergence.org/?p=3789>

我々の多くは、ケムトレール作戦の頻度や強度に直接の関係をもち、それが通った後に必ず起こる、さまざまな病気や症状をもっている。その結果として起こる病気には名前さえつい

ている——「ケムトレール症候群」。<http://thehealthcoach1.com/?p=3403>

したがって、科学研究論文など別になくとも、毎日、空に見つけ、自分の体に感ずるものを、我々は知っている。

なぜ彼らは、これほど長く嘘をついてきたのか？

なぜ、米連邦政府が、米軍とともに、これら強化しつつある気象操作計画について、真っ赤なウソをつき続けてきたについては、特別の理由がある。

第一に、これは最も重大なことだが、これら高度に破壊的な、隠微な作戦の背後にある本当の理由は、まったく驚くべきものだからである。彼らの意図に良いものは何もなく、対流圏に加えられつつある極端なダメージにも、プラスになるものはない。次のビデオは、注意深く隠された気象操作計画に関して、ひそかに動いているアジェンダの、ほんの一つを明らかにしている。「**5G と気象操作のつながり**」

<http://chemtrailsmuststop.com/2017/11/5g-and-the-geoengineering-connection-video/>

現在、アメリカ全土で行われている気象操作計画の、深さと幅広さについて、もし真実を語るとしたら、アメリカ人民は政府に対して、文字通り反乱を起こすであろう。彼らに内在する危険とリスクがあまりにも大きいので、あらゆる場所の共同体が、自分たちは無慈悲な攻撃にさらされていると悟るであろう。

次のエッセーや暴露記事の一覧は、それが地球の大気圏に関する真の有様を垣間見せてくれる。もちろん、上空で起こっていることは、究極的には、地球上の陸塊や、海中の諸物体に影響を与える。これまでもそうだった。したがって、すべての人類は、ゴキブリのように規則的に散布を受けているうちに、致命的な影響を受けることになる。

<http://themillenniumreport.com/2017/09/global-climate-change-how-geoengineering-is-causing-a-worldwide-weather-apocalypse/> （地球規模の気象変化：気象操作が世界的な天候の大変革をもたらしつつある）



気象変化と気象操作

この危機的な教の時から取り出すべき最大の教訓は、こういうことである：——政府がこの重要な情報と不可欠のデータの公表を、不当にも拒否することは、それがある極端に深刻な問題につながっているからである——すなわち**地球的気象変化**。

気象操作こそが、地球的気象変化の主たる原因である、CO₂ではない。

<http://stateofthenation2012.com/?p=27876>

気象変化の唯一最大の原因が、気象操作（geoengineering）だということは、今では確立された科学的事実である。この絶え間ない地球規模のケムトレール散布作戦は、何トンという炭塵のようなものの微粒子を、大気圏に放出していて、それが水蒸気の莫大な量の生成に貢献している。水蒸気は最も一般的なグリーンハウス・ガスである。グリーンハウス・ガスは、特にその大気圏の量が、ケムトレール・エアロゾルのために急速に増えるときには、気象変化にかなり大きく貢献する。

米政府は、大量の有毒炭塵を、ケムトレールによって大気圏に散布している。

<http://stateofthenation2012.com/?p=19935>

ここに真の問題が横たわる。空中で行われる化学気象操作が多ければ多いほど、気象変化がますます破壊的になっていく。

言い換えると、気象変化を唱える者たちは、天気の劇的な変化を言う点では正しい。しかし彼らはその真の原因について間違っている。気象操作技師たちは、彼らの組織的なケムトレ

ール放出や HAARP の周波数、また Nexrad トランスマッターや、発電所の湿度ソースを使って、大破壊を引き起こしている。気象操作技師たちは、2017 年の [メガ] ハリケーン・シーズンに見られたような、スーパー・ストームを作り出すこともできる。

多くの読者にとって、スーパー・ストームが最初、どうやって作られ、次に、あらかじめ決められた目的地へ、どうやってうまく導かれるのか、まったく理解困難に思えるだろう。高度に発達した科学技術と応用テクノロジーが、今、日常的に、気象操作の領域の内部で用いられている。ケムトレールとケム爆弾を使った化学気象操作、HAARP の周波数、Nexrad トランスマッター、火力発電所、それに秘密の衛星に置かれたモダリティー、そういうものが、大きなハリケーンを作り出し操縦するのに、非常に巧妙に用いられている。(ソース: *Full-Scale Weather War Being Waged Against North America*, <http://stateofthenation2012.com/?p=84127>)

結論

この比較的新しい現状はこのまま継続するしかない。地方のエコシステムと地球的環境とともに、これまでの荒廃を維持することしかできない。本当に困ったことは、絶え間のない化学汚染と EMR 周波による攻撃が、レーダーに捉えられないレベルで起こっていることである。そういう事情で、ミクロのレベルでの地球の劣化に、本当に気づく人はごくわずかである。

時の権力は、見ることも聞くことも触れることもできないものには、反応できないことをよく知っている。これこそまさしく、彼らがこのような攻撃的なキャンペーンを始めるに当たって、市民に対し、chemtrail は contrail (飛行機雲) だと納得させようとした理由である。彼らは、もしこのウソを十分長く反復していれば、気象操作技師も、彼らの明白に不法なケムトレール戦略に騙されるだろうと知っていた。

しかし、アメリカに押し寄せる時代の波によって、この虚偽が、見え透いたウソであることが暴露された。どうしてアメリカ人民が、このような破壊的な政府の陰謀を許し、これほど長く彼らに騙されてきたのか、まったく理解できない。

とはいえる、我々の空を自分の手にしっかりと取り戻せたことは、遅れたとはいえ、よかったですと言わねばならない。未来の世代の健康と安泰が、生命世界の純粹さとともに、大きくそこにかかっている。

